

SHIRAKOBATO

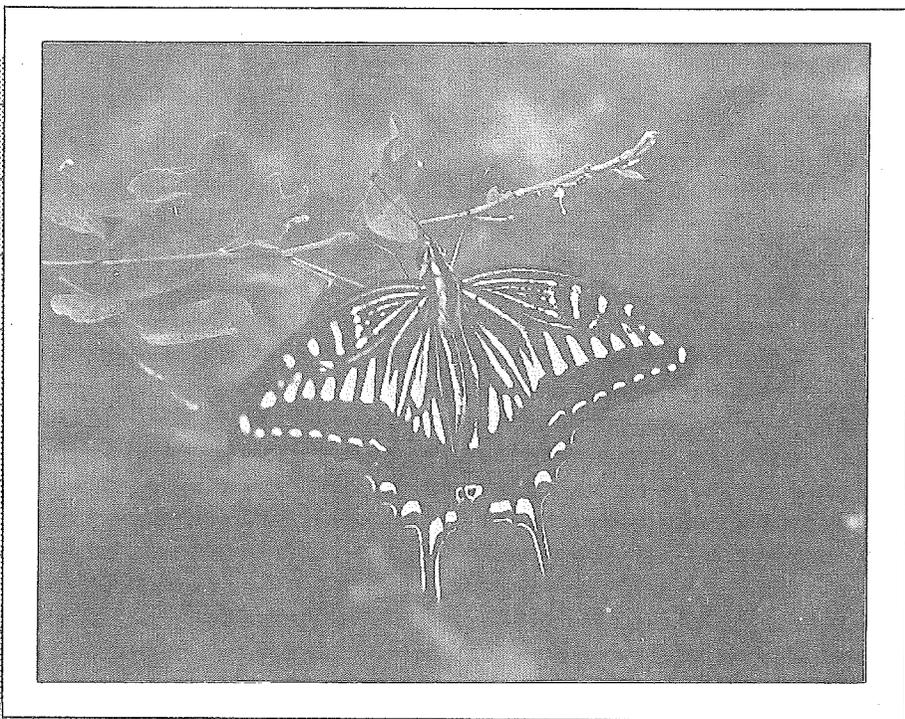
しらこぼと



1992.5

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 96

日本野鳥の会 埼玉県支部

定例探鳥会記録から見た

三室地区の野鳥の特徴

海老原美夫（浦和市）

本誌1991年9月号（第88号）では、熊谷市大麻生地区定例探鳥会の記録から、ゴルフ場開設前と後の観察鳥種の比較を試みたが、浦和市でも、三室地区の定例探鳥会が90回以上続けられている。今回は三室地区で積み重ねられたデータからどのような分析ができるかを考えてみた。

探鳥会の記録

日本野鳥の会埼玉支部では1984年5月から毎月1回第3日曜日に浦和市三室地区で定例探鳥会を開催している。最高100人くらい最低10数名の会員・非会員の参加者を支部リーダーが指導し、各自の双眼鏡・望遠鏡などを使用して観察する。時間は朝9時頃から正午頃まで。地域は浦和市立郷土博物館を出発点として、見沼田んぼ内の畑・草原・芝川流域、周辺の斜面林、人家付近など2～3kmの行程。確実性を期するために最低2人以上が観察した鳥種のみを観察種としてリストを作成する。個体数の記録はない。今回は1991年12月まで92回の記録に基づき分析を進める。

観察種類数

各月別の観察種類数は、表1の通りである。これによると、年間平均観察種類数はほぼ

30種で、大きな経年変化は見られないが、月別平均種数は、夏は少なく、冬は多い傾向が見られる。その関係をより明らかにするためにグラフにしたのが、グラフ1である。

鳥種による分析

対象期間中観察された鳥種全部を月別にまとめたのが、表2である。全部で14目30科97種に及ぶ。

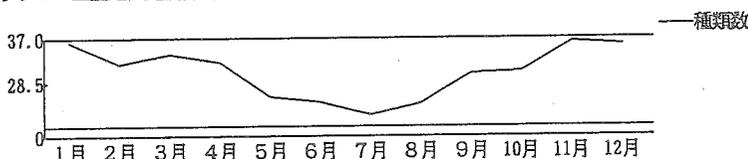
その97種を、冬鳥・夏鳥・留鳥・旅鳥の季節別と、水辺・森林・草原・上空通過の地域別に分類した。あくまでもこの探鳥会での観察結果に基づく分類であり、上空通過とは、一時的に飛来し、地域との関連が薄いものを言う。

結果として、季節別では冬鳥34種・留鳥29種・旅鳥28種・夏鳥6種、地域別では水辺41種・森林25種・草原20種・上空通過11種である。

表1 三室地区定例探鳥会で観察された種類数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
1984年					28	23	24	20	26	29	31	31	26.5
1985年	34	30	31	30	23	24	26	23	32	31	36	36	29.7
1986年	36	31	33	34	26	21	21	26	26	35	33	31	29.4
1987年	36	40	38	33	19	23	21	24	30	25	33	36	29.8
1988年	38	32	30	35	31	27	24	23	35	31	38	35	31.6
1989年	37	32	35	25	27	26	16	26	33	32	36	38	30.3
1990年	35	29	33	39	28	26	22	24	29	28	40	39	31.0
1991年	38	31	38	31	26	26	26	25	27	33	38	35	31.2
平均	36.3	32.1	34.0	32.4	25.7	24.7	22.3	24.4	30.3	30.7	36.3	35.7	30.4

グラフ1 三室地区定例探鳥会で観察された鳥種の月別平均



本誌1990年1月号（第68号）に発表された埼玉県産鳥類リスト（1978年4月～1989年11月）による272種を同様に分類し、三室地区と比較するために帯グラフにまとめたのがグラフ2である。

結果と考察

三室地区探鳥会で観察された鳥は14目30科97種、埼玉県内全域で観察された鳥種の36%に及ぶ。県内全域との対照においても、冬鳥が多くて夏鳥が少ない

編集内容のご紹介 Part 2

[野鳥情報 (P 6,7)] 選ぶ基準は次のとおりです。

- ①稀少種。
- ②県内では珍しい種。
- ③その地域では珍しい種。
- ④時期として珍しい種。
- ⑤珍しい種ではなくても、季節感にあふれた情報。
- ⑥新しく観察された習性、その他。

常連さんより新人優先です。同様の情報が重なった場合は、当然あまり名前の載らない方を先に選びます。

時期としては、真夏の情報がどうしても少なくなります。つまり、今まであまり情報のなかった方から真夏の情報ですと、掲載される確率が大変高くなるわけです。(担当の藤原編集員は、そう言う情報は必ず載りますと、深く静かにうなずいています)。

明らかに間違いと思われる情報は別にして、原則としてお寄せいただいた情報をそのまま掲載します。ただし、ご本人が確信がない場合や、珍らしい種類でその裏付けがはっきりしない場合などは「？」マークをつけさせてもらう場合もあります。

珍らしい種類の場合は、写真や詳しい観察記録なども一緒に、特別緊急の場合を除き、はがき・手紙でお寄せください。

[行事あんない (P 8,9)] 『しらこぼと』を受け取ると、まずこのページを開けてみる方が多いことでしょう。担当の小林みどり編集員は、正確を期して普及部との連絡、時刻表のチェックなどに神経をすり減らし、そのうえで魅力的な「見どころ」の文章に苦勞しています。

更に、探鳥地ごとに適した靴を表記したらどうかとか、健脚向きコースか平坦な道かを記載したらどうかとか、さまざまな工夫も検討しています。

タイトル部分のイラスト常時募集中です。季節感にあふれたイラストを、鳥の場合は右向き、白紙に黒インクで描いて、お送りください。

[行事報告 (P 10,11)] 探鳥会が終わると各リーダーがその報告書を作成し、このページを担当している森本編集員のところに送ります。それをワープロに順番に打ち込んで日付順に並べ替えておきます。編集会議の日が近づくときと字数合わせをして印刷をし、原稿とします。

鳥のリストの次に担当リーダーの感想文がありますが、これがなかなか大変で、まったく愛想なしの2~3行の人から延々と長文の人までさまざまです。以前リーダー名をいれてなかったときには編集担当者がかかなり作文していたのですが、今はなるべく原文に近い形で掲載するようにしています。リーダーの個性が分かるとおもしろいとの評判もありますが、いかがでしょうか。

以前は、行事を行った順番に漏らさず掲載するようにしていたので、原稿の催促が大変でしたが、最近では到着したものだけを順番に出していますので、大分楽になりました。でも、原稿の催促をしないのはいいことに(?) ちっとも原稿を書いてくれないリーダーが何人かいます。だいたい常習犯ですが、ここでは名前は伏せておきましょう。心当たりのリーダーは以後早めに原稿を出してください。ヨロシク!

今月号の行事報告の欄に書いてありますように、タイトルの募集をしています。御礼はできないと思いますが、自分の描いた作品を毎号ながめてみたい方はよろしく。

[連絡帳 (P 12)] 最終ページは海老原編集員が、事務局担当者でもある立場から、皆様にお知らせすべきことあれこれを適当に選んで構成しています。会員の皆様の展覧会などもできるだけこの欄でお知らせしたいと考えていますので、予定が決まりましたら、できるだけ早く事務局までお知らせください。編集後記欄は、編集部員が交代で書いています。思いがけない人が思いがけないことを書いたり、編集部員たちが素顔をさらす窓口です。

以上全12ページ、私たちは毎月毎月それなりに努力を続けています。至らぬ点も多々ありますが、どうかよろしく願います。

地鳴きコーナー

塩壺温泉でお会いした

埼玉県支部の皆様へ

坂下宏子(千葉県)

埼玉県支部の皆様ありがとうございました。3月15日軽井沢塩壺温泉ホテル前に午後着いた私共は、たまたまスコープを並べている方々とお会いした。すぐに呼んでいただき巣箱の穴から顔を出しているムササビを見せて下さった。アカゲラも見せて下さった。初めてお会いしたのにとっても親切にして頂いた。そこですぐ鳥合せになり35種の名を記させて頂いた。それをすぐにも野鳥の森で観察したかったのでお礼も言わずに来てしまって本当に失礼しました。

なかなか自分の所属する支部の探鳥会にも出られないのに、遠いところで他の支部の方たちと偶然にお会いできて、とても楽しい旅ができました。さすがに野鳥の会です。

3時過ぎに雨が降り出してホテルに戻るまで、野鳥の森の観察小屋で黄色い眉と三角よだれかけのミヤマホオジロ♂にも会えました。次の日には窓枠にとまってガラスをたたくゴジュウカラに驚かされながらカラ類やベニマシコの♀に見とれました。イカルの群れに圧倒されながら、ホテルのロビーから見える池に落ちたえさを拾いまくる“泳ぐねずみ”を見たのも初めてのことでした。

この旅も全て埼玉県支部の方たちとお会いした事で初めからラッキーでした。

直接お礼がお伝えできず(住所が判りません)本部を通じてお伝えできれば幸と思いません。

注)本部経由で、当支部に送付されました。

探鳥会に参加して

祖父江テル(熊谷市)

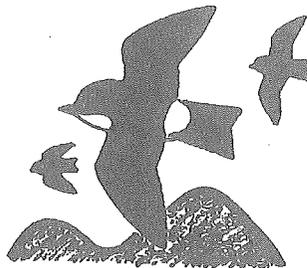
いよいよ桜の季節になります。大麻生探鳥会に2回お世話になりました。毎回、担当の方々からうけますご親切なご指導に、うれしくてももわすれはがきを書きました。

スズメのほほに黒い点のあること、などなど色々と……。身近で見ながら知らないで

おりました。

心をなごませてくれます小さな鳥達のことを見ていますと、よごれの事が気になります。少しでもよごさない工夫をと思います。最近自分の出しますヨゴレを気にする様になりました。これも野鳥の会に入ったからだと思えます。野鳥の会埼玉県支部の皆様のご健康を心よりお祈りいたします。

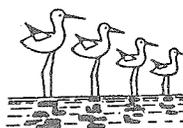
(3月22日 受付)



(佐藤方博)

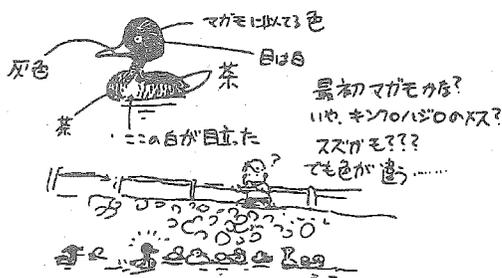
しらこぼと2月号(P-3) クイズこたえ

おっべしよる	→	折る
うえめえ	→	おいしい
めっためった	→	もっともっと
にたり	→	柿の一種
いってんべえ	→	いってみる
そうだんべえ	→	そうでしょう
てんじょうんち	→	高台にすむひと
たろっべえ	→	たらめ
すぐじ	→	近道
つみっこ	→	郷土料理
たっぺ	→	霜柱
こじゅうはん	→	おやつ
まぐそったか	→	のすり
ひやっけえ	→	つめたい
てつこぼっこ	→	アリ地獄
とうすくぼ	→	ふくろう
えんまいれ	→	農事用側道
あしつるし	→	アシナガバチ
きびしょ	→	急須
そうげん	→	かじか
ぼんどり	→	むささび
ひとへず	→	一本
へしてえおき	→	一日おき
おおかん	→	大通り
しらがだゆう	→	やまゆの幼虫
ねずっけえし	→	ネズミの糞
せんぜえ	→	千菜畑
うたうたい	→	一番わらび
じだんぼう	→	くぬぎ
きりん	→	ジャッキ
どびんこわし	→	シャクトリ虫
おこさま	→	蚕
でえじん	→	大金持ち
うんだらべえ	→	熟しガキ
さまつ	→	マツタケ
もずばっつけ	→	モズのはやにえ
はっこしよい	→	オオクワガタ
さくい	→	気やすい



野鳥情報

- カンムリカイツブリ ◇2月8日、本庄市の阪東大橋下流で1羽(井上幹男)。
 コハクチョウ ◇1月30日午前9時30分、川本町明戸で37羽(山口輝雄)。
 オシドリ ◇2月5日、寄居町の玉淀ダムで300羽以上(井上幹男)。
 トモエガモ ◇2月2日、所沢市の狭山湖で♂1羽(滝田美恵子)。◇2月5日、寄居町の玉淀ダムで♂3羽♀2羽(井上幹男)。
 ◇2月15日、志木市の柳瀬川、高橋～栄橋間で♀1羽(中司隆由)。
 アメリカヒドリ ◇1月26日、富士見市の新河岸川、南畑上流で♂1羽(入沢直子)。
 アカハジロ ◇2月10日、所沢市の狭山湖で♂1羽(比企裕)。



(比企裕)

- ホオジロガモ ◇2月2日、狭山湖で♂♀各1羽(滝田美恵子)。
 ミコアイサ ◇2月2日、狭山湖で♂1羽(滝田美恵子)。
 オオタカ ◇12月23日、浦和市秋ヶ瀬のC区で1羽(石井智)。◇2月8日午後2時頃、本庄市の阪東大橋下流で成鳥1羽。オナガガモのメスを捕まえるが、カラス2羽にじゃまされて、逃げられてしまう。「逃がした獲物は大きい」カラスさえこなければビデオでバッチリ撮れたのに残念!(井上幹男)。◇2月9日、北本市石戸宿で1羽(吉原俊雄・早苗)。
 ノスリ ◇12月23日、浦和市秋ヶ瀬のA区で1羽。「ぴゅー」と鳴く。1月5日、浦和

- 市秋ヶ瀬のB区で2羽(石井智)。
 コチョウゲンボウ ◇2月1日、本庄市の阪東大橋下流で♂1羽(井上幹男)。
 チョウゲンボウ ◇1月22日、JR新三郷駅付近で2羽。2月13日、鉄塔上でおおらかに交尾(山部直喜)。◇2月2日、幸手市木立の中川で1羽(秋間利夫)。
 バン ◇1月19日、吉見町の大沼で1羽(榎本秀和)。
 オオバン ◇1月19日、吉見町の大沼で1羽(榎本秀和)。
 タマシギ ◇12月5日、蓮田市の黒浜沼付近の田んぼで♂1羽(石井智)。◇2月3日～4日、上尾市の丸山公園近くの休耕田でオス5羽。5日～8日、同所でオス3羽(袖岡宏)。
 ケリ ◇1月8日、川島町の平沼で5羽(石井智)。
 タゲリ ◇1月5日、浦和市秋ヶ瀬のB区で約30羽(石井智)。◇2月13日、大宮市二つ宮の荒川べりで33羽(松尾英美)。
 オジロトウネン ◇2月2日、幸手市木立の中川で2羽(秋間利夫)。
 クサシギ ◇1月21日、浦和市秋ヶ瀬のピクニックの森の奥の池で1羽。翼の下面と尾も確認できた(馬場芳之)。
 セグロカモメ ◇1月5日、浦和市下大久保の鴨川排水機場で3羽(石井智)。◇2月11日、所沢市の狭山湖で1羽。ユリカモメに混じってひときわ大きく目立っていました(比企裕)。
 アオゲラ ◇1月25日、三芳町の高福寺で♂1羽(中谷稔)。◇2月9日、北本市石戸宿で1羽(吉原俊雄・早苗)。
 アカゲラ ◇11月30日、北本市石戸宿で1羽(吉原俊雄)。◇2月6日、長瀬町の宝登山で♂1羽(伊藤幸子)。
 コヒバリ ◇1月19日、戸田市道満貯水池の岸辺で、東久留米市の山口達夫・貞子さんが発見して写真撮影した(2月5日付け埼玉新聞から)。コヒバリは主に日本海側の各地で10例ほどの記録があるが、県内では今まで確認記録はない(野鳥記録委員会)。
 シベリアハクセキレイ ◇11月17日から1月

19日まで、浦和市三室地区の荒川で継続して観察。ビデオ撮影した（海老原美夫）。シベリアハクセキレイ（*Motacilla alba baicalensis*）はハクセキレイの亜種。背が明るい灰色で、過眼線がほとんどなく、風切と雨覆に白い羽縁がある。主に日本海側で旅鳥として観察されている。県内では今まで記録されていないが、ハクセキレイの亜種であるから、新種の確認記録とはならない（野鳥記録委員会）。

ミソサザイ ◇2月1日、北本市石戸宿で1羽、我が眼を疑ったが、やっぱりミソサザイ（吉原俊雄）。

ルリビタキ ◇1月25日、毛呂山町旭台の雑木林で♀1羽（増尾 隆）。◇2月2日、大宮市日進1丁目の生研で♀1羽。残雪の中、きれいでした（浅見健一）。

トラツグミ ◇1月13日午前7時15分、川越市新宿町3丁目の路上で1羽拾得。自動車かガラス戸に激突したらしく、口から血を出して死んでいました。他に損傷はなく、きれいな個体でした（楠川雅之）。◇1月25日、北本市石戸宿で1羽（立岩恒久）。◇2月6日、長瀬町の宝登山で2羽（伊藤幸子）。

アカハラ ◇2月1日、北本市石戸宿で1羽（吉原俊雄）。◇2月12日、浦和市大原の県立浦和西高校下の見沼の畑でムクドリに混じって♂1羽（江原恵子）。

シロハラ ◇2月1日、北本市石戸宿で1羽（吉原俊雄）。

キクイタダキ ◇1月25日、三芳町の多福寺で3羽（谷中 稔）。◇2月2日、大宮市日進1丁目の生研で♀2羽。低い杉林にシジョウカラ、メジロの混群の中「チチチ、ツツツ」と細い声で良く鳴きながら移動し



シベリアハクセキレイ（海老原美夫）

ていた（浅見健一）。◇2月8日、北本市石戸宿で1羽。東屋の近くの雑木林の木の頂付近をあっちへこっちへチョコチョコ（吉原俊雄）。

ヒガラ ◇2月2日、大宮市日進1丁目の生研で2羽（浅見健一）。

ヤマガラ ◇2月1日、北本市石戸宿で1羽（吉原俊雄）。

コジュリン ◇1月21日、浦和市秋ヶ瀬のB区で1羽（馬場芳之）。

ホオアカ ◇1月5日、浦和市秋ヶ瀬のA区で3羽（石井 智）。

ミヤマホオジロ ◇2月1日、北本市石戸宿で♀1羽（吉原俊雄）。◇2月2日、人間市宮寺で♂2羽（渡辺 敦）。

マヒワ ◇1月18日、浦和市秋ヶ瀬の野鳥園の脇で3羽（馬場芳之）。

ベニマシコ ◇1月23日、長瀬町の宝登山で♂♀各2羽（伊藤幸子）。◇2月1日、深谷市の上武大橋下流で♂1羽♀2羽（井上幹男）。

ウソ ◇1月22日、北本市石戸宿で♂2羽。桜の木の芽をついばみながら、時々「フィフィ」と鳴く（立岩恒久）。◇1月27日、秩父市の羊山公園で（山岸昭治）。

表紙の写真

ネイチャーフォートコンテスト1991入選作

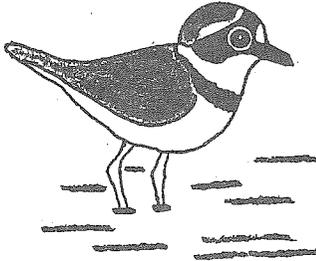
ナミアゲハ（アゲハチョウ科）

ふと目をとめると、アゲハがぶら下がっていた。そして、その美しさにみとれてしまった。少し前まで、確かアゲハはあまり好きな蝶ではなかったのだが、最近、アゲハを見ると心がときめいてしまう。「あげはてふこそ

てふてふのなかのてふだ」なんて呟きたくになってしまう。

近くにいる、それでいて気高い感じの魅力に引かれたのだろうか。当分アゲハに狂うだろう。 渡辺 敦（羽生市）

行事あんない



(佐藤方博)

茨城県・菅生沼探鳥会

期日：5月3日(日・祝)
集合：午前8時45分 東武伊勢崎線北越谷駅東口
交通：東武伊勢崎線新越谷8：31発または春日部8：22発に乗車。集合後バスで現地へ。バス代は600円程。小銭をご用意下さい。車でお越しの方はあらかじめ中島まで連絡を
解散：現地にて午後2時ごろ。
担当：中島康夫、松井昭吾、楠見邦博、草間和子、入山博、五十嵐浩
見どころ：黒いボディに赤い足、なかなかハイセンスなツルシギの夏羽。ファンが多いのもうなづけます。今年も、新緑の菅生沼でお目にかかれそうです。

本庄市・阪東大橋探鳥会

期日：5月5日(火・祝)
集合：午前9時 JR高崎線本庄駅北口(集合後、現地までバス利用)
交通：JR高崎線大宮7：41→本庄8：47
担当：町田好一郎、北川慎一、林 滋、諏訪隆久、関口善孝
見どころ：旅の途中のシギやアマツバメなど、トリは色々いますが、ヒトはあまりいません。混雑知らずの広い河原で、黄金週間のしめくりをお楽しみ下さい。

神奈川県・多摩川河口探鳥会

期日：5月9日(土)

探鳥会への参加は、特別な場合を除いて予約申込みの必要はありません。受付は探鳥会当日。参加費は一般 100円。会員及び中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。小雨決行です。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時ごろになります。

◇はじめて探鳥会に参加される方へ◇

集合場所へ着いたら、まず“日本野鳥の会埼玉県支部”の旗か、青い腕章をつけた担当者を探して、遠慮なく声をおかけ下さい。私達もあなたを探していますので、ご心配なく。

集合：午後2時45分 京急大師線小島新田駅
解散：午後5時ごろ

担当：小林みどり、松井昭吾

見どころ：夏羽のシギ・チドリを眺めながら過ごす週末の午後のひととき。お勤めの方も帰りがけにお立ち寄り下さい。草靴でも歩けるコースです。(注：但しハイヒールは不可)。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：5月10日(日)

集合：午前9時30分 秩父鉄道大麻生駅前
交通：秩父鉄道熊谷9：06発または寄居9：03発に乗車
担当：諏訪隆久、林滋、菱沼一充、森本國夫、関口善孝、菱沼洋子
見どころ：荒川の“夏告鳥”たち。天までとどくセッカの声、景気よく唄うオオヨシキリ。川辺がにぎやかになると、もうすぐ、夏。

浦和市・秋ヶ瀬探鳥会

期日：5月10日(日)

集合：午前8時 浦和駅西口バスロータリー(集合後、現地までバス)
担当：福井恒人、楠見邦博、草間和子、小林みどり、手塚正義、伊藤芳晴、笠原伸子、田口浩司、羽石幸子、嶋田和江
見どころ：薫風になびく白鷺の飾り羽。ウェディングドレスを思わせる、その清らかな美しさに思わずため息が……
注意：集合時刻が早くなりました。

川越市・西川越探鳥会

期日：5月10日（日）

集合：午前9時 JR川越線西川越駅前

担当：佐久間博文、長谷部謙二、石井幸男、
三田長久、黒田佳子、柳原正昭、小野
光明

見どころ：サギの仲間やカワセミなど、水辺
の鳥を見るなら、ここ、西川越。この
季節には渡りのシギ・チドリを探す楽
しみも増えます。

上尾市・丸山公園探鳥会

期日：5月10日（日）

集合：午前7時20分 丸山公園北駐車場

交通：高崎線上尾駅西口1番バス乗り場から
西上尾車庫行き7：03発に乘車、終点
下車

解散：午前10時ごろ

担当：乗田実、吉原俊雄、榎本秀和、岡安征
也、内藤義雄、赤瀬征雄、立岩恒久

見どころ：毎年意外なお客様が訪れ、“早起
きは三文の得”を実証し続ける早朝の
丸山公園。今年はどうな得があるかな？

大宮市・深作川探鳥会

期日：5月10日（日）

集合：午前9時 JR東北線東大宮駅東口

担当：中島康夫、松井昭吾、藤原寛治、馬場
昇、林慎一、入山博、墨江光子

見どころ：ムナグロ、キアシシギなど数種類
のシギ・チドリが水田で羽を休めてい
ます。燃え立つようなアマサギの夏羽
も楽しみです。

浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：5月17日（日）

集合：午前8時15分 京浜東北線北浦和駅東
口（集合後、バスで現地へ）または、
午前9時 浦和市立郷土博物館前

後援：浦和市立郷土博物館

担当：楠見邦博、福井恒人、渡辺周司、手塚
正義、伊藤芳晴、笠原伸子

見どころ：高原へ向かうカッコウ君、三室の

斜面林でちよつとひと休みしていかな
い？ そしてひと声、聴かせてくれな
い？ みんな楽しみにしているよ。

長野県・戸隠飯綱高原探鳥会（要予約）

期日：5月23日（土）～5月24日（日）

ただいま、参加者を募集中です。詳細は、先
月号をご覧ください。

狭山市・入間川探鳥会

期日：5月24日（日）

集合：午前9時 西武新宿線狭山市駅西口

交通：西武新宿線本川越7：42発または所沢
8：39発に乘車

担当：長谷部謙二、三田長久、石井幸男、佐
久間博文、柳原正昭、小野光明

見どころ：ときには鳥を脇役に。入間川探鳥
会では初めて迎える新緑の季節。道端
に咲く草花や初夏の景色を主役に、の
んびり散歩もいいですよ。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：5月30日（土）午後1時～2時ごろ

会場：支部事務局

野鳥写真クラブ定例会

とき：5月30日（土）午後2時ごろ～5時

会場：『しらこぼと』袋づめの会と同じ

栃木県・奥日光探鳥会（要予約）

期日：5月30日（土）～5月31日（日）

定員に達しましたので、締め切りました。ご
応募ありがとうございました。参加される方
には、詳しい案内書を送付いたします。

大滝村・三峰神社探鳥会

期日：5月31日（日）

集合：午前9時30分 秩父鉄道三峰口駅前

担当：林滋、町田好一郎、小林みどり

解散：現地にて午後2時ごろ。

見どころ：夏鳥を楽しむ小さな旅。深山の趣
きを味わいながら、キビタキ、コマド
リなどを探します。一泊の夏鳥ツアー
に行けない方は、どうぞ、こちらへ。

行事報告

1月19日(日) 浦和市 三室地区

人 62人 天気 晴 鳥 カワウ コサギ
カルガモ コガモ オナガガモ ホシハジロ
チョウゲンボウ イカルチドリ タゲリ タ
カブシギ イソシギ タシギ キジバト コ
ゲラ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキ
レイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタ
キ ツグミ シジュウカラ メジロ ホオジ
ロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ
スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラ
ス ハシブトガラス (34種) 新年初めての探鳥会
で、賑やかな楽しいゆったりした集いでした。
風がやや強かったが、見沼田圃のあちこちに
紅梅や白梅が咲いて、春の息吹が聞こえてい
ました。探鳥会は、参加者全員で作って行く
ものですが、今日はK氏がナキハクチョ
ウの本邦発出現の記事の切抜きを持ってきて
くれたり、K 2氏が、鈴木支部長の写真展の
埼玉新聞の記事のコピーを参加者に配ってく
れたり、非常に嬉しいことでした。みんなで
作る埼玉県支部に幸いあれ! (楠見邦博)

1月25日(土) 『しらこぼと』袋づめの会
作業を楽しんだ人 荒木恒夫、海老原教子、
海老原美夫、角田真喜子、草間和子、桜庭勇、
塩野谷静子、鈴木啓紀、墨江光子、中村治、
馬場昇、平野樹夫、藤野富代、渡辺敦 (14人)

1月25日(土) 写真クラブ定例会

参加者 17人

作品発表 スライド2人 ビデオ2人

1月26日(日) 狭山市 入間川

人 16人 天気 晴 鳥 カイツブリ ゴイ
サギ コサギ マガモ カルガモ コガモ
オナガガモ トビ キジ イカルチドリ ハ
マシギ イソシギ ユリカモメ キジバト

カワセミ コゲラ ヒバリ キセキレイ ハ
クセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒ
ヨドリ モズ ツグミ ウグイス エナガ
シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ
カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナ
ガ ハシボソガラス ハシブトガラス (37種)
昼間活動している働き者もたまにはいるが、
ゴイサギは普通夜行性の鳥とされている。で
は、昼間は何をしているのか? ここ入間川
では、北風の当たらない窪地で12羽が仲良く日
向ぼっこをしていた。一見、呑気そうに見え
るが、毎年生活の場を追われている彼らにし
てみれば、自らの生活環境を破壊している人
間の方がよっぽど呑気に映るのだろう。

(長谷部謙二)

1月26日(日) 川口市 座間

人 34人 天気 曇 鳥 カワウ コサギ
カルガモ チョウゲンボウ キジバト コミ
ミズク カワセミ ヒバリ ハクセキレイ
タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ
ツグミ カシラダカ カワラヒワ スズメ
ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブ
トガラス (21種) 夕闇の枯れ野からコミミズ
クが現れ、ゆったりとした羽ばたきで低空飛
行。目前で獲物をねらっている姿も見られた。
出現鳥は21種と少なかったが、この日お目当
での鳥が見られ、十分に満足できた。それに
しても、あのコミミズクの顔は「金太郎アメ」
そのものでした。

(手塚正義)

2月2日(日) 北本市 石戸宿

人 24人 天気 快晴 鳥 カワウ コサギ
カモSP オオタカ ノスリ コジュケイ
バン キジバト アカゲラ コゲラ キセキ
レイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨ
ドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイ

ス ヤマガラ シジュウカラ ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュリン カワラヒワ シメ スズメ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (31種) 前々夜の大雪そして当日未明の大地震にもめげずに24名が参加。白銀の世界を飛び回るジョウビタキ、ホオジロ、アオジ、カシラダカの彩りの美しさ。青空をバックにツンとすましたシメとカワラヒワ。空の青さに透けるような白さのコサギに感激。コゲラ後頭部の赤色小斑を見たもの数名。ノスリ、オオタカもちらりと姿を見せてくれた。鳥合わせ終了直後、いつものようにカワウの大編隊が出現した。

(岡安征也)

2月2日(日) 茨城県 菅生沼

人 27人 天気 晴 鳥 カワウ ダイサギ コサギ アオサギ コハクチョウ カルガモ コガモ トモエガモ オナガガモ ハシビロガモ オオタカ イカルチドリ タゲリ タシギ ユリカモメ キジバト カワセミ コゲラ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ アカハラ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュリン カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (37種) 雪景色をバックに飛ぶコハクチョウの群れ、雪原に遊ぶタゲリ、杭の上に止まるカワセミなど、前日の雪のお陰で、いつもと違う菅生沼の鳥景色でした。コハクチョウの群れの中に、アメリカコハクチョウを1羽確認しました。(中島康夫)

2月9日(日) 所沢市 狭山湖

人 40人 天気 晴 鳥 カイツブリ カンムリカイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ ホシハジロ キンクロハジロ ホオジロガモ オオタカ ノスリ ユリカモメ キジバト コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ ジョウビタキ シロハラ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクド

リ ハシボソガラス ハシブトガラス (38種) 昨シーズンから始めた多摩湖サイクリングロードを通るコースをとつたが、林の鳥がほとんど出ない。アオジ、ウグイスの声を聞き、上空にオオタカを見て狭山湖に着く。下見では10種のカモを見たのだが、6種類しかいない。幸い約半数が初めての参加者であり、マガモ、カルガモ、コガモ、キンクロハジロのそれぞれ違った美しさに喜んでもらった。多数のユリカモメが湖面を舞い、岸边にはアオサギ、カワウ、カラスが群れており、一味違った狭山湖を楽しんだ。(三田長久)

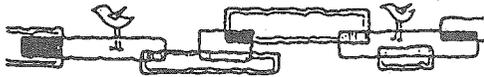
2月11日(火・休) 長瀬町 長瀬

人 79人 天気 晴 鳥 カイツブリ コサギ オシドリ マガモ カルガモ コガモ トビ オオタカ コジュケイ イカルチドリ イソシギ キジバト ヤマセミ カワセミ コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ カワガラス ジョウビタキ ツグミ エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ イカル シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (36種) 朝の下見は寒くてポケットから手を出すのもいやだった。河原に下りて見たら、対岸の木の枝にヤマセミが2羽止まっていた。探鳥会が始まるまで待っててくれたらなあと思いながら集合地に行きたいね。最初はイカルの群れ、そして、オシドリ、カワセミ。白鳥荘を過ぎたころ、誰かが叫んだ。「ヤマセミ、ヤマセミ！」と。リーダーはほっとした。後はヤマセミフィーバー。解散後は2羽になり、ダイビングしたり、岩に止まったり、大サーブス。皆様お疲れ様でした。青山さん、味噌汁ごちそうさま。(林 滋)

行事報告タイトル大募集

現在のタイトルは、渡辺周司さんをお願いして描いていただいたものですが、そろそろ模様替えを考えております。縦横比を現在と同じにして、墨や黒インクなどで描いた作品を編集部までお寄せ下さい。

連絡帳



当支部の名前は変わりません

財団法人埼玉県野鳥の会という団体が、財団法人埼玉県生態系保護協会という名前に変わるという新聞報道があり、当支部事務局にお問い合わせの電話が何本もありましたが、当支部の名前は変わりません。

今回名前が変わった団体はもともと日本野鳥の会とはまったく別個の活動を続けている団体です。私たちは昔からもこれからも「日本野鳥の会埼玉県支部」として、変わらぬ活動を継続します。

バードウィークイベント・野鳥画展

4月号で作品募集のお知らせをした野鳥画展、いよいよ今月開催です。

タイトル 環境を考える野鳥画展

期 間 5月9日(土)～17日(日)
午前10時～午後8時(9日は午後から、17日は午後5時まで)

会 場 熊谷駅ビルA Z熊谷4階カプセルプラザ(エスカレーター横)

入場無料

自然の象徴である野鳥たちが、画家の目を通して静かに環境問題を語りかけます。

展示作品の販売もあります。

第1回神泉村探鳥会開催

神泉村産業観光課と同村コミュニティづくり推進協議会主催の探鳥会が、城峯公園周辺と神流湖を舞台に3月22日開催され、当支部から講師として町田好一郎・林滋・堀越省一の3名が参加、指導に当たりました。

30名募集のところ、役場スタッフも入れて53名もの地元の人たちが集合、村営マイクロバスに乗ってまわり、神流湖ではミサゴ・ヤマセミ・オシドリなどを見て大喜び、城峯山ではカラ類の混群やアトリの大群に大感激、次回探鳥会での再会を約して散会、なごやかな探鳥会でした。

バードウィーク野鳥写真パネル展

4月号でも一部ご紹介したパネル展は次の3ヵ所で開催されることになりました。

4月13日～5月8日 三菱信託銀行浦和支店

4月28日～5月18日 JR亀戸駅ビル

5月6日～5月22日 三菱信託銀行大宮支店

5月の土曜日当番(2時～6時)

2日 草間和子 羽石幸子

9日 登坂久雄 藤野富代

16日 山部直喜 海老原美夫(編集会議)

23日 事務局休み

30日 袋づめの会(1時から)

会員数は

4月1日現在1,872人です

活動報告

3月12日 今年度鳥獣保護員として、福井恒人幹事を継続推薦する手続き(事務局)。

3月14日 編集会議(4月号編集作業)。

3月30日 『しらこぼと』4月号を浦和中郵便局から発送(事務局)。

3月30日 棚卸しなど事業部事務処理(草間和子)。

3月31日 普及部だよりと土曜日当番に関するアンケートを役員リーダーに発送(楠見文子、海老原教子)。



編集後記

「編集内容のご紹介 Part 2: 行事あんない」に一言つけ加えます。一人でも多くの方に探鳥会に来て頂きたいばかりに、「見どころ」に魅力的な鳥の名前を書き連ねてしまいがちです。が、これらの鳥が本番の探鳥会で必ず見られるとは限りません。鳥さんに連絡をとって「明日、必ず来てね!」とか言えるといいんですけど。「見どころ」に書いてあった鳥が探鳥会で見られなくても、リーダーや私を恨まないでください。(小林みどり)

『しらこぼと』1992年5月号(第96号) 定価 100円(会員の購読料は会費に含まれます)
発行人 鈴木忠雄 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 TEL・FAX 048(832)4062
〒336 浦和市岸町4丁目26番8号プリムローズ岸町107号 郵便振替東京9-121.130
印刷 望月印刷株式会社 (本誌掲載記事の無断転載はかたくお断わりします)

しらこぼと 92.5月号 付録

//////. ごめんなさいコーナー //////////////////////////////////

4月21日、雨。8km余の道を自転車で半月印刷へ。校正ケラの刷り上げカー一日遅れたので一人で校正。一応は上げて帰宅。いつもは2~3人でやっているのに、今日は老眼1人。何とぞ心面で見直すと、ミスが12も見つかる。

4月22日、朝。印刷所の始業が終わって訂正の電話を入れようと思ったが、どうにも仕事の手が離せず。ついに10時10分。連絡がついた時には、もう印刷にかかり始まっているということで訂正不能。ごめんなさい。

P.3 表2 セツカ→セツカ P.7 左 1行 荒川→芝川

P.4 右 22行め
くけない→くれない P.7 左 下から2~3行め
シシヨウカラ→シシウカラ

P.5 右 方言
うえめえ→うんめえ
→フォトコンテスト

こじゅうはん→こじゅうはん

ひやっけえ→ひゃっけえ

てつこぼろこ

→てつこぼろこ

えんまいれ→うんまいれ

P.9 右 下から2行め
ツアー→ツアー

P.10 右 1A26Bの項見出し
座間→差間